

【学校だより】

南アルプス市立小中一貫校 八田小中学校
八田小学校



大望の鐘

【学校教育目標】

豊かな心を持ち かしこく たくましい 子どもの育成

令和6年11月26日 NO.7 校長 石原 裕

全校で学びの成果を共有！ 学習発表会

各学年の日頃の活動の成果を紹介する学習発表会が、11月8日（金）に行われました。今年度は、全校が体育館に集まり、互いの発表を聴き合うとともに、全校合唱も行いました。天候にも恵まれ、多くの保護者や地域の皆様にご参観していただき、盛大に開催することができました。あらためて感謝申し上げます。

また、駐車場の誘導をサポートティチャー5名の方にお手伝いいただきました。運動会の準備に引き続き、大変助かりました。早い時間からありがとうございました。



1年生「青い空に絵をかこう」（群読・歌・鍵盤ハーモニカ演奏）



2年生「みんなでLet's go! ～きっと明日もいい天気～」（鍵盤ハーモニカ演奏・歌）



3年生「魅力いっぱい！わたしたちの南アルプス市」ミッキーマウスマーチ（合奏）



4年生「世界を旅する音楽室」（合唱・合奏）



5年生「～さあ！夢の世界へ～」夢の世界を（合唱）W Aになっておどろう（合奏）



6年生「生きる～今、『生きている』ということ～」（群読・合唱）



どの学年の発表も練習の成果が発揮され、素晴らしい発表でした。たくさんの観客の前で発表するのはドキドキと思いますが、発表を終えた後のほっとした表情も素敵でした。会場の皆様には、あたたかい拍手をたくさんいただき、ありがとうございました。

あいさつで地域を元気に！ 市内一斉あいさつ運動

11月5日(火)～8日(金)の4日間、八田小学校の東駐車場、正門、西門の3か所で「市内一斉あいさつ運動」が行われました。青少年育成市民会議の呼びかけに、民生児童委員などの地域の方、八田中の生徒会役員が協力してくださり、元気な声であいさつをしてくださいました。



登校してきた児童たちは、元気なあいさつに戸惑いながらも、あいさつを返すことができました。八田小学校では、児童会を中心にあいさつに取り組んでいます。今回のあいさつ運動をきっかけに、**学校だけでなく、家庭や地域でも、自分から元気に挨拶できる児童**になってほしいと思います。家庭での声かけもお願いいたします。

災害に強い八田に！「八田地区教育を語る会」



11月18日(月)、八田中学校の体育館にて「八田地区教育を語る会」が開催されました。今年度のテーマは「**防災**」。正月には能登半島地震、8月には南海トラフ地震臨時情報<巨大地震注意>が初めて発表され、改めて防災について考える機会にしたいということからテーマが設定されました。

前半は山梨大学 佐藤史弥先生から、「**災害対策 きほんのき**」という演題で、学校防災についてご講演をいただきました。後半のパネルディスカッションでは、テーマを「**巨大地震の備えについて考える**」とし、学校・地域の防災について、小中

学校や自治会の代表者、有識者が登壇し、意見等を交換しました。フロアにいる中学生にも意見を聞く場面があり、**参加者全員で地域の防災について考える機会**となりました。学校で行う避難訓練では、実際の災害を想定し適切な負荷をかけることや訓練をとおして課題を明らかにすることの大切さが確認されました。また、学校が避難所となったときの運営には、中学生も大きな役割を果たすことが必要であることが指摘されました。今回の語る会をきっかけに、八田地区がより災害に強い地域になればと思いました。

甲州弁のよさを再確認！「ふれあい読書の夕べ」

11月22日(金)、PTA主催の「ふれあい読書の夕べ」が視聴覚室にて開催されました。今年度は、八田地区在住の「**甲州弁の伝道師**」**五緒川津平太**(こっちょがわ つっぺった)先生をお迎えし、甲州弁の楽しさを感じることをテーマに行われました。

五緒川先生から繰り出される軽快で懐かしい甲州弁に、参加した児童や保護者からは笑みがこぼれました。「甲州弁桃太郎」で参加者の心をつかみ、「甲州弁クイズ」、「本当はカワイイ甲州弁」、「甲州弁シンデレラ」と、あっという間に時間が過ぎてしまいました。保育園児から保護者までの幅広い年代の参加者が、先生の「生の甲州弁」の迫力とユーモアあふれるイラストをとおして、甲州弁の世界を楽しむことができました。私たちのアイデンティティの一つである**甲州弁を、大切に、そして楽しんで使っていきたい**とあらためて思いました。

お忙しいところ参加してくださったご家族の皆様、企画・運営をしていただいたPTAの役員様、素晴らしい会をありがとうございました。

